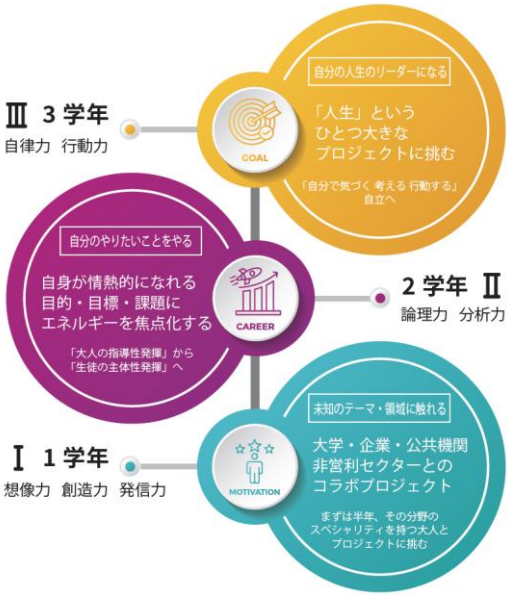
月高だより

北海道札幌月寒高等学校
第　５０号
令和８年１月２１日発行
発行者　校長　三　村　素　道

「月高だより」をご覧の皆さまに改めまして新年のご挨拶を申し上げます。2026 年も本校の教育活動に対し、昨年までと変わらぬご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

総合的な探究の時間
探究学習プロジェクト「BEING ALIVE」３年間の流れ



■　**BEING ALIVE**　本校ではスクール・ミッションの実現に向けて総合的な探究の時間を活用し、探究学習プロジェクト BEING ALIVE に取り組んでいます。探究学習を通してよりよい社会を創るという理念を社会と共有し、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくことが取組の目的です。そのため、連携及び協働に向けたコミュニティを構築し、たくさんの外部パートナーの支援を受けた活動に取り組んでいます。右に概念図がありますが、１学年では大人（教師や外部の専門家など）が子どもたち（生徒）に「触れておいてほしい」「知っていてほしい」「考えてみてほしい」テーマ・領域を用意し、生徒たちは探究したいものを選択することになります。世の中が知らないことだらけであることや、自分で課題を見つけることの意味に気づかせることが狙いです。２学年では「教師・大人の指導性発揮」から「生徒の主体性発揮」へ移行することになります。生徒自身が情熱的になれる目的・目標・課題を見出し、自分のエネルギーをそこに焦点化します。生徒同士の対話のみならず積極的に校外に出て、多様な他者と「自身が守り抜きたい価値観、倫理観、知識」をアップデートするための動的な議論・対話を生み出すことが狙いです。３学年では「人生」という大きなプロジェクトに挑むことになります。その入口に立ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら課題解決学習に取り組んでいきます。「自分で気づき、考え、行動する」自立へ向けて、探究力を強化しながら一つひとつ新しい未来を意味づけていくのが BEING ALIVE（生きていること）そのものと考えています。今年度の１年生は、〇プレコンセプションケア、〇私らしく生きる～ゲノムと予防医療でかなえる Well-being ～、〇ケアし合える共同体、〇“自然”や “社会”にやさしい食べ物の経済学、〇野生動物と共生する　そのための道民リテラシーとは？〇北海道の森を五感で感じる Feel Hokkaido Forest、〇北海道 GX への挑戦、〇北海道新幹線と地域経済の未来を探る、〇街とデザイン、〇AI と共に生きる未来をデザインしよう、〇科学のストーリーテラー、〇Tell Your Own Stories with Art!　アートで想いを伝えよう、〇これからのキャリア構築ブランディング、〇海外の高校生と語る「大人になるってどういうこと？」という 14 のプロジェクトのいずれかに、それぞれの興味関心に応じて参加し、専門知識を持つ大人たちと協働し、探究学習を進めています。なお、本校の BEING ALIVE の取組は、SNS note（ノート）の中で、「北海道札幌月寒高等学校公式 note」として掲載しておりますので、是非ご覧ください。


BEING ALIVE　１年生の取組の様子

月寒高校 note　２次元コード

■　**出張講義**　昨年 10 月には、１学年で３つの大学より講師を招き実施しましたが、12 月 10 日、２学年で医・歯・薬学系、外国語学系、看護・保健・人間福祉系、経済・経営・商学系、芸術・デザイン系、情報学系、農・獣医・畜産学系、法・政治学系、理・工学系など 12 の学部系統別に道内外の大学より講師を招き、出張講義を行いました。生徒たちは自分の進路希望に合わせた講座に参加し、希望進路実現に向けた思いを強くしました。


国際学系の講義の様子

■**ブックトーク**　図書局の主催により、本にまつわるエピソードや考察を交えて、教員が本を紹介するイベントが 12 月 11 日から 15 日の昼休み、図書館において行われました。１日目は書道部によるオープニングの後、加藤紗耶教諭による「ムスコ物語」の紹介、２日目は写真部によるオープニングと荒井暁教諭が「わたしと読書」というタイトルで、３日目は吹奏楽部がオープニングをつとめ加藤淳教諭による「読書のオススメ」があり、生徒たちは興味深げに話を聞いていました。


加藤紗耶教諭のブックトークの様子

■tan-fest in 石狩 北海道教育委員会の主催により BRIDGE 構築事業令和 7 年度「Ezo 探究」プロジェクトとして全道全ての高校が参加し、それぞれの管内にて探究学習成果の発表会がオンラインにより行わました。12 月 16 日、本校からは、2 年生の内田さんと成瀬さんが代表として発表しました。設定したメインテーマは「世界に溢れる答えのない問題にどう向き合うか」ということで、昨年 8 月に台湾 Study Tour 2025 で台湾景美高校の生徒と現地交流した経験を踏まえて、メインテーマの課題を解決するためには、「多様な他者との交流が大切である」という仮説のもとに探究した内容を堂々と発表していました。



オンラインでの発表の様子



校長室で行われた内定式の様子

■進路内定式 定時制では、続々と進学決定者、就職内定者が出ていますが、12 月 16 日、それらの内定者のこれまでの努力をたたえるとともに、残りの高校生活への自覚を促すことを目的に、就職内定式が、校長室にて行われました。内定生徒代表の挨拶では、残りの高校生活及び就職への意気込みを、そして代表以外の生徒からは、4 年間の思いが語られ、内定者一同、気持ちを新たにしました。



3 学年の休業前集会の様子

■全日制　冬季休業前・明け学年集会 12 月 18 日に各学年で休業前集会が、1 月 13 日には、1 、2 学年で休業明け学年集会が行われました。



綱引きの様子

■　体育大会 12 月 17 日、18 日の 2 日間にわたって、定時制では体育大会が行われ、全部で 5 種目の競技を全員で楽しみました。今年度も、札幌国際大学の 5 人の大学生が「教育実践演習」における学校実習ということで、大会をサポートしてくれました。結果は男子ドッヂボール 1 位 3 年生、女子ドッヂボール 1 位 2 年生、バドミントン 1 位 4 年生、男子バスケットボール 1 位 4 年生、女子ミニバレー 1 位 4 年生、綱引き 1 位 3 年生となり、総合では、4 年生が優勝となりました。



校長講話の様子

■定時制　2 学期終業式・3 学期始業式 12 月 19 日に 2 学期終業式が、1 月 15 日には、3 学期始業式が行われました。

■羽ばたけ鴻鵠、全国に～今年度 全道・全国大会での活躍

部活名	大会名	期日	結果
卓球部	全道選抜大会	12/19 （苫小牧）	男子 1 回戦　月寒 2-3 旭川東 女子 2 回戦　月寒 1-3 旭川西

■今後の行事予定

	全日制	定時制
2 月	9-13　後期期末テスト、27　卒業式予行・同窓会入会式	10　推薦入学面接日、17-20　学年末考査、27　卒業式予行・同窓会入会式
3 月	1　卒業式、2　振替休日、3　学力検査設営、4-6　学力検査関係休業、24　終業式・離任式、25-31　年度末休業	1　卒業式、2　振替休日、3　学力検査設営、4-5　学力検査関係休業、24　終業式・離任式、25-31　年度末休業、27　新入生オリエンテーション

●本校ホームページもご覧ください。
http://www.sapporotsukisamu.hokkaido-c.ed.jp/

●本校への応援やご意見などのメッセージなどを右の QR コードまたは、下のアドレスよりお寄せください。
https://forms.gle/iD4cobHyvqSNvGGy7